

龍王峡ハイキングMAP

岩と水の大景観。これぞ、自然の芸術品！



川治・龍王峡

- ハイキングコース
- 遊歩道
- 施設・名所
- 駐車場
- コース区間
- トイレ
- バス停
- 水飲み場

区間早見表

区間	距離	時間
AからBまで	0.4 km	10分
BからCまで	0.7 km	20分
CからDまで	0.9 km	30分
DからEまで	1.0 km	30分
EからFまで	1.1 km	30分
FからGまで	1.0 km	30分
GからHまで	0.9 km	30分



新緑から紅葉まで四季折々の渓谷美でハイカーを魅了します。

ハイキングコース

- 距離…約6km
- 所要時間…約3時間

コース案内

- ① **むささび橋巡回コース**
(約2Km・1時間)
五龍王神社→虹見の滝→虹見橋→対岸散策→むささび橋→ミスバショウ群落→むささび橋→壱琴の滝
- ② **起点から白岩まで**
(約2Km・1時間)
五龍王神社→虹見の滝→壱琴の滝→ミスバショウ群落→むささび橋→大観→白岩
- ③ **白岩半島を経て浜子橋まで**
(約3Km・1.5時間)
五龍王神社→虹見の滝→壱琴の滝→ミスバショウ群落→むささび橋→大観→白岩半島→浜子橋
- ④ **川治温泉岩風呂まで**
(約6Km・3時間)
五龍王神社→虹見の滝→壱琴の滝→ミスバショウ群落→むささび橋→大観→白岩半島→浜子橋→逆川林道→黄金橋→川治温泉薬師の湯

龍王峡の起源

今から2200万年もの昔、海底火山の活動によって噴出した火山岩が鬼怒川の流れることによって浸食され、現在のような景観になったと言われています。
その名の通り、まるで龍がのたつ姿を思わせるような迫力は、山間のいて湯、川治温泉と鬼怒川温泉の間、約3キロにおよびます。
昭和25年8月、この辺り一帯の渓谷を「龍王峡」と名付けられ、鬼怒川・川治随一の景勝地として知られるようになりました。

消防誘導標識案内板

Call 119

携帯電話で119「誘導標識〇番」と通報して下さい。

救急〇救助
Ambulance Rescue

日光市消防本部 消防センター
TEL.0288-21-0016

ハイカーのみなさまへ
ハイキング中に気分が悪くなったり、ケガをしてしまった場合は、携帯電話等でその時の状況とともに、近くにある表示板の番号を119番通報して下さい。消防隊員が場所を特定して出動します。ご協力をお願いします。

龍王峡の遊歩道は「自然研究路」です。

野生動物(クマ・ヘビなど)や害虫(ハチ・ヒル等)に十分注意してください。

お問い合わせ

日光市藤原観光課

☎0288-76-4111

E-mail:kankou-fujihara@city.nikko.lg.jp

1~3 龍王峡ハイキングコースの主なみどころ

- 1 五龍王神社
- 2 虹見の滝
- 3 壱琴の滝
- 4 むささび茶屋
- 5 大観
- 6 兎はね
- 7 かも穴
- 8 白岩

大観は全国観光地百選渓谷の部で第5位に輝く程の絶景。「五光岩」「兎はね」の造形美にも心を打たれます。

むささび橋は龍王峡で最も眺めが良く、眼下に広がる景観は息をのむ程。

虹見の滝は落差の大きい急流で、晴れた日にはほとほと水しぶきの上に美しい虹が架かります。

かも穴は昔また河底だった頃に岩の柔らかい部分が水や石によって浸食して出来たものです。

白岩半島はハイカーの疲れを癒してくれる休憩ポイント。記念写真には絶好の場所。

ハイキングコースは、道なりに舗装道がおすすめです。

分岐点注意

ゲート有

トンネル内車注意

道路横断車に注意

急カーブ!車に注意

川治湯元駅にエレベーターが設置されています。